

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績			
【法人名】 一般財団法人埼玉県河川公社 【中期経営計画の期間】 令和５年度～令和７年度	目標	艇置隻数	艇置使用料収入	体験クルージング等の実施回数
		【令和５年度目標】 ２３０隻の維持	【令和５年度目標】 １１０百万円の維持	【令和５年度目標】 ４回／年
		【令和６年度目標】 ２３０隻の維持	【令和６年度目標】 １１０百万円の維持	【令和６年度目標】 ４回／年
		【令和７年度目標】 ２３０隻の維持	【令和７年度目標】 １１０百万円の維持	【令和７年度目標】 ４回／年
	各年度の実績	【令和５年度実績】 ２４３隻	【令和５年度実績】 １１３百万円	【令和５年度実績】 ４回実施
		【令和６年度実績】 ２６３隻	【令和６年度実績】 １２７百万円	【令和６年度実績】 ３回実施
	法人による自己評価	中期経営計画の前期間（令和２～４年度）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限により、屋外のレジャーが志向されたため艇置隻数は伸長した。新型コロナウイルス感染症５類移行後（Ｒ５年度）は、他のレジャー等へ志向がスライドする予測としていたため契約隻数目標を２３０隻とし、大場川・芝川マリーナの認知度向上のため広報（告知）活動を強化してきた。 令和６年度は前年度から引き続き契約隻数増となり、他のマリーナと同様、本公社のマリーナにおいても艇置隻数を増加させることができた。	今年度は、前年度から艇置契約隻数が増加したため、艇置使用料収入は大きく増となった。	体験クルージングは参加者（県民）に大いに好評な事業である。事業開始当初から無事故で事業推進を実施している。